

問1 明治時代の東京・銀座を描いた当時の錦絵には、夜の街を照らすガス灯の設置や、洋服を着用して往来する人々の姿が描かれています。この資料に見られるような、当時の都市部における建築様式の特徴として最も適切なものはどれですか。（2017年 滋賀公立入試 類似）

1. 伝統的な木造建築に代わり、レンガ造りの建物が立ち並ぶようになった
2. 外壁を厚く塗った土蔵造りの商家が、火災対策として流行した
3. 貴族の住居であった寝殿造が、一般市民の住宅にも取り入れられた
4. 石造りの巨大な城郭建築が、都市のシンボルとして各地に再建された

問2 明治維新における三大改革の一つとして、1872年に出された「学制」が果たした役割や特徴について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2026年 群馬公立入試 類似）

1. すべての国民に教育を受けさせることで、近代社会を支える国民を育成しようとした
2. 一定の年齢に達した男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織しようとした
3. 25歳以上のすべての男子に選挙権を認め、議会政治の基盤を整えようとした
4. 戦時下において国民の生活や労働力を政府が統制し、戦争遂行を優先させた

問3 明治政府は、1872年に琉球王国を琉球藩とし、1879年にはこれを廃止して沖縄県を設置することで、日本の領土として確定させました。この一連の政治的な処置を指す用語として、最も適切なものを選んでください。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 琉球処分
2. 廃藩置県
3. 版籍奉還
4. 台湾出兵

問4 1875年に明治政府がロシアとの間で締結した「樺太・千島交換条約」の内容について、北方の国境をどのように定めたか述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 樺太全体をロシア領とし、得撫島より北の千島列島を日本領とすることで国境を画定した。
2. 樺太の南半分を日本領とし、得撫島より北の千島列島をロシア領とすることで国境を画定した。
3. 樺太と千島列島の全域を日本の領土として確定させ、ロシアの南下を阻止した。
4. 日露和親条約の内容を継承し、樺太を日露両国民の混住の地として改めて定めた。

問5 1871年に欧米諸国へ派遣された岩倉使節団の主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2019年 滋賀公立入試 類似）

1. 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること
2. 廃藩置県の実施に際して、欧米諸国から政治的な承認と財政的な支援を取り付けること
3. 国内で頻発していた士族の反乱を抑えるため、欧米の最新兵器の導入と軍隊の派遣を要請すること
4. キリスト教の信仰を全国で解禁することを条件に、関税自主権の完全な回復を合意すること

問6 1877年に実施された地租の税率引き下げ（3%から2.5%への変更）は、当時の社会情勢と深く関わっています。政府がこの時期に減税を急いだ背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 静岡公立入試 類似）

1. 各地で激化した農民の不満が、同時期に発生した士族の反乱と結びつくことを恐れたため。
2. 殖産興業が順調に進み、地租以外の関税収入が政府予算の大部分を占めるようになったため。
3. 欧米諸国から、農民に対する重税が文明国にふさわしくないという外交的批判を受けたため。
4. 自由民権運動の広がりにより、帝国議会において地租軽減案が可決されたため。

問7 1873年に明治政府が実施した租税制度の改革について、土地所有者に「地券」を発行し、土地の価格である地価を基準とした一定の税率を、米などの収穫物ではなく現金で納めさせるようにした仕組みを何と称しますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 地租改正
2. 廃藩置県
3. 版籍奉還
4. 殖産興業

問8 1879年に明治政府が軍隊を派遣し、琉球藩を廃止して沖縄県を設置した背景や目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため
2. 琉球王国による独自の貿易を奨励し、アジア全体との経済交流を深めるため
3. 欧米列強の進出を防ぐため、琉球を日本から独立した中立地帯にするため
4. 鹿児島県の一部であった琉球を分離させ、住民の自治権を拡大するため

問9 明治時代初期、日刊新聞や雑誌の創刊を通じて欧米の思想や文化が積極的に取り入れられ、日本人の生活や意識が大きく変化した現象を何と呼ぶか。また、当時の都市部で見られた、新しい食文化や交通手段の組み合わせとして適切なものはどれか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 文明開化と呼ばれ、パンなどの洋食の普及や、人力車の利用が見られた。
2. 文明開化と呼ばれ、肉食の禁止や、全国的な鉄道網による長距離移動が一般的となった。
3. 蘭学の普及と呼ばれ、パンなどの洋食の普及や、人力車の利用が見られた。
4. 大正デモクラシーと呼ばれ、ラジオ放送の開始や、円タク（タクシー）の普及が見られた。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>伝統的な木造建築に代わり、れんが造りの建物が立ち並ぶようになった</b>	文明開化の影響により、都市部では西洋風の建築が導入されました。特に東京の銀座では、火災に強い街づくりと近代化の象徴として、イギリス人技師の指導による「れんが街」が建設されました。錦絵などの資料からは、ガス灯、馬車、そして洋服を着た人々など、生活のあらゆる面で西洋化が進んでいた様子を読み取ることができます。
問2	<b>答え 1</b> <b>すべての国民に教育を受けさせることで、近代社会を支える国民を育成しようとした</b>	明治政府は、フランスの教育制度などを参考に学制を定めました。「必ず邑（むら）に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理想を掲げ、個人の能力を引き出すことが国力の向上に直結すると考えたためです。選択肢にある兵役に関するものは徴兵令、25歳以上の男子への選挙権は普通選挙法、戦時下の統制は国家総動員法に関する記述です。
問3	<b>答え 1</b> <b>琉球処分</b>	琉球王国を日本の領土（沖縄県）として完全に組み込んだ一連の過程を琉球処分と呼びます。廃藩置県は1871年に全国の藩を廃止して県を置いた改革ですが、琉球に対する処置はそれとは別の時期（1872年～1879年）に行われた独自の統合政策です。
問4	<b>答え 1</b> <b>樺太全体をロシア領とし、得撫島より北の千島列島を日本領とすることで国境を画定した。</b>	明治政府は、日本とロシアの国民が混住していた樺太（サハリン）での紛争を避けるため、国境を明確にする交渉を行いました。その結果、樺太の権益をすべてロシアに譲る代わりに、それまでロシア領であった得撫島（ウルップ島）以北の千島列島を日本領とすることで、北東アジアにおける領土の範囲を確定させました。
問5	<b>答え 1</b> <b>幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること</b>	明治政府は、欧米列強との対等な関係を築くために不平等条約の改正を急いでいました。岩倉使節団はその予備交渉を行うとともに、日本の国力を充実させるために欧米の政治、経済、教育などの進んだ仕組みを直接学ぶことを重要な任務としていました。この視察で得た知見は、帰国後の日本の近代化政策に大きく反映されました。
問6	<b>答え 1</b> <b>各地で激化した農民の不満が、同時期に発生した士族の反乱と結びつくことを恐れたため。</b>	1877年は、鹿児島で西郷隆盛らによる西南戦争が起きた年です。政府は、重税への抵抗が強めていた農民たちが、士族による反乱勢力と合流して大規模な反政府運動に発展することを強く警戒しました。そのため、税率を地価の2.5%に下げることによって農民の不満を和らげ、政権の安定を図ろうとする政治的な判断がなされました。
問7	<b>答え 1</b> <b>地租改正</b>	明治政府は、国家財政を安定させるために大規模な税制改革を行いました。それまでの豊作・不作に左右される米による納税（物納）から、土地の価格（地価）に基づいた金納（現金による納税）へと切り替えたことが大きな特徴です。この際、土地の所有権を正式に認める証書として「地券」が土地所有者に交付されました。
問8	<b>答え 1</b> <b>清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため</b>	当時の琉球は、日本（薩摩藩）と清（中国）の両方に属するような複雑な立場にありました。明治政府は近代的な主権国家として国境を確定させるため、琉球が清へ朝貢することなどを禁止し、日本の地方行政単位である「沖縄県」を設置することで、日本の主権が及ぶ範囲であることを国際的に宣言しようとしていました。
問9	<b>答え 1</b> <b>文明開化と呼ばれ、パンなどの洋食の普及や、人力車の利用が見られた。</b>	明治政府による「富国強兵」や「殖産興業」の政策が進められる中、西洋の制度だけでなく、生活習慣や技術も急速に導入されました。この動きは文明開化と呼ばれます。情報の伝達手段として日刊新聞や雑誌が登場したほか、食生活ではパンや牛肉を食べる習慣が広まり、交通手段としては人力車が都市部で普及するなど、生活のあらゆる面で西洋化が進みました。